



令和6年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年11月13日

上場会社名 株式会社トーア紡コーポレーション

上場取引所 東

コード番号 3204 URL <https://www.toabo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 渡

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 竹川 宗一郎 TEL 06-7178-1158

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第3四半期の連結業績（令和6年1月1日～令和6年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年12月期第3四半期	13,431	△3.4	486	△0.6	586	4.4	349	14.5
5年12月期第3四半期	13,909	10.5	490	24.6	562	32.3	305	44.3

(注) 包括利益 6年12月期第3四半期 336百万円 (△58.3%) 5年12月期第3四半期 807百万円 (42.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年12月期第3四半期	39.63	-
5年12月期第3四半期	34.25	-

(注) 令和5年12月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、令和5年12月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年12月期第3四半期	36,043	12,703	35.2	1,447.94
5年12月期	34,455	12,540	36.4	1,405.16

(参考) 自己資本 6年12月期第3四半期 12,694百万円 5年12月期 12,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年12月期	-	0.00	-	12.00	12.00
6年12月期	-	0.00	-	-	-
6年12月期（予想）	-	-	-	13.00	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和6年12月期の連結業績予想（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	△3.9	650	△12.5	600	△26.0	350	△39.0	39.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年12月期3Q	8,940,448株	5年12月期	8,940,448株
② 期末自己株式数	6年12月期3Q	173,472株	5年12月期	22,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年12月期3Q	8,822,737株	5年12月期3Q	8,918,026株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境に改善の動きもあり、緩やかな回復基調にあります。一方で、不安定な国際情勢による景気減速リスクに加え、インフレの進行を背景とした実質賃金の伸び悩みなどにより、個人消費の持ち直しに足踏みが見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,431百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は486百万円（前年同期比0.6%減）、経常利益は586百万円（前年同期比4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は349百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

なお、前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

[衣料事業]

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造・販売および制服の縫製加工、ニット製品の製造・販売を行っております。

第3四半期は、特に一般衣料向けが前年の暖冬および、コロナ明けリベンジ消費の反動から苦戦を強いられた結果となりました。

毛糸部門は、前年秋の残暑による店頭不振の影響で、受注が伸びず、減収となりました。

ユニフォーム部門のスクール制服向け素材は、モデルチェンジの流れが継続し、増収となりました。

官公庁制服向け素材は調達量増加により増収となりましたが、一般企業向け制服素材はカタログ向けが苦戦し、減収となりました。

テキスタイル部門は、ウール離れが加速し減収となりました。

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人は、中国市場向け販売の不振を受けて減収となりました。

この結果、売上高5,016百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益318百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

[インテリア産業資材事業]

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、住宅建材・排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア関連製品、オレフィン系短繊維の製造および販売を行っております。

自動車内装材部門は、メーカーの認証試験の不正による生産停止の影響を受けて、出荷数量が減少したことに加え、材料の仕入値が下がり減収減益となりました。

ポリプロファイバー部門は、カーペット用原綿が、展示会やイベント需要が増え増収増益となりました。

カーペット部門は、需要が落ち着き売上は減りましたが原材料、電力、燃料の価格転嫁が進み減収増益となりました。

特殊繊維部門は、金属繊維は減産しましたが、カーボン繊維が好調で増産体制に入り増収増益となりました。

不織布部門は、土木関係の受注が減りましたが寝装関係は順調に推移し、増益となりました。

自動車内装材製造販売の中国現地法人は、日系自動車の減産が前年より続いております。また、中国ローカルのEV車メーカーによる生産調整の影響を受け減収となりました。

この結果、インテリア産業資材事業は、売上高5,246百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益124百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

[エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っております。

主力の電動工具向けコントローラーは、得意先で増産体制になり、増収となりました。一方で、パワー半導体の販売につきましては、産業機器分野、家電分野での得意先の在庫調整が継続しており、本格的な回復には至っておりません。

この結果、売上高1,204百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益5百万円（前年同期は営業損失20百万円）となりました。

[ファインケミカル事業]

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、電子材料用および工業用薬品の製造および販売を行っております。

電子材料分野では、デジタル機器や半導体向け需要に力強さを欠き減収減益となりましたが、第3四半期から本格的な復調に転じております。ジェネリック医薬分野は、先発メーカー品からの回帰の流れを受け増収となりましたが、主力の電子材料の落ち込みを補うまでには至りませんでした。

この結果、売上高793百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益8百万円（前年同期比74.3%減）となりました。

[不動産事業]

不動産事業は、主に郊外型ショッピングセンター・ロードサイド店舗・オフィスビルの賃貸などを行っております。

新規テナントの入居が決まり微増収となりましたが、販売費の増加により減益となりました。

この結果、売上高680百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益391百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

[その他]

その他の事業は、自動車学校の運営、ヘルスケア商品の販売、洋菓子店の運営などを行っております。

自動車教習事業は、大学生の夏休みシーズンの入校状況が低調で減収となりました。

ヘルスケア事業は、化粧品、健康食品などを販売しております。

ムサシノ製薬では、主力商品であるフタアミンクリームが長引く猛暑の影響を受けて売上が低調に推移し、減益となりました。

この結果、その他の事業全体の売上高は490百万円（前年同期比13.8%増）、営業損失98百万円（前年同期は営業損失81百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,588百万円増加し、36,043百万円となりました。その主な要因は、電子記録債権の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比1,425百万円増加し、23,340百万円となりました。その主な要因は、短期借入金および長期借入金等の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比163百万円増加し、12,703百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年12月期の業績予想につきましては、令和6年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,471	2,444
受取手形及び売掛金	2,584	2,296
電子記録債権	105	1,739
商品及び製品	2,534	2,635
仕掛品	828	863
原材料及び貯蔵品	2,297	2,248
その他	301	390
貸倒引当金	△20	△26
流動資産合計	11,102	12,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,961	2,320
機械装置及び運搬具(純額)	456	844
土地	17,074	17,074
リース資産(純額)	122	115
建設仮勘定	750	3
その他(純額)	92	92
有形固定資産合計	20,458	20,451
無形固定資産		
のれん	77	71
その他	66	69
無形固定資産合計	144	141
投資その他の資産		
投資有価証券	1,974	2,151
繰延税金資産	117	126
その他	707	631
貸倒引当金	△49	△50
投資その他の資産合計	2,749	2,858
固定資産合計	23,352	23,451
資産合計	34,455	36,043

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,747	1,775
短期借入金	5,976	6,947
未払法人税等	203	67
賞与引当金	—	121
解体撤去引当金	96	—
その他	1,102	1,053
流動負債合計	9,126	9,965
固定負債		
長期借入金	6,825	7,484
繰延税金負債	4,252	4,313
退職給付に係る負債	1,080	937
長期預り敷金保証金	484	496
資産除去債務	52	55
その他	93	87
固定負債合計	12,789	13,375
負債合計	21,915	23,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	3,570	3,568
利益剰余金	3,636	3,879
自己株式	△20	△83
株主資本合計	11,127	11,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	540	591
繰延ヘッジ損益	△4	△19
為替換算調整勘定	866	817
その他の包括利益累計額合計	1,403	1,390
非支配株主持分	9	9
純資産合計	12,540	12,703
負債純資産合計	34,455	36,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
売上高	13,909	13,431
売上原価	11,292	10,783
売上総利益	2,617	2,648
販売費及び一般管理費	2,126	2,161
営業利益	490	486
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	33	41
為替差益	61	83
助成金収入	1	—
その他	55	70
営業外収益合計	165	209
営業外費用		
支払利息	64	77
持分法による投資損失	0	5
その他	28	26
営業外費用合計	93	109
経常利益	562	586
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	7	1
固定資産圧縮損	6	0
投資有価証券売却損	2	—
投資有価証券評価損	—	0
関係会社出資金売却損	—	8
災害による損失	36	1
減損損失	1	—
解体撤去引当金繰入額	—	21
特別損失合計	55	33
税金等調整前四半期純利益	513	553
法人税、住民税及び事業税	243	165
法人税等調整額	△35	38
法人税等合計	207	203
四半期純利益	305	349
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	305	349

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
四半期純利益	305	349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	50
繰延ヘッジ損益	71	△14
為替換算調整勘定	154	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	28	△26
その他の包括利益合計	502	△13
四半期包括利益	807	336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	807	336
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
減価償却費	287百万円	306百万円
のれんの償却額	3	5

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリ ア産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイン ケミカル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	5,389	5,421	1,145	843	679	13,478	430	13,909	—	13,909
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	14	6	—	17	42	258	300	△300	—
計	5,392	5,436	1,151	843	697	13,520	689	14,210	△300	13,909
セグメント 利益又は損 失(△)	310	157	△20	31	395	873	△81	792	△301	490

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△301百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△304百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリ ア産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイン ケミカル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	5,016	5,246	1,204	793	680	12,940	490	13,431	—	13,431
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	14	3	—	17	37	245	283	△283	—
計	5,018	5,261	1,207	793	697	12,978	736	13,714	△283	13,431
セグメント 利益又は損 失(△)	318	124	5	8	391	847	△98	748	△262	486

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△262百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	5,385	5,356	1,145	843	46	12,776	430	13,207
その他の収益	3	64	—	—	633	701	—	701
計	5,389	5,421	1,145	843	679	13,478	430	13,909

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	5,013	5,177	1,204	793	45	12,234	490	12,725
その他の収益	3	68	—	—	634	706	—	706
計	5,016	5,246	1,204	793	680	12,940	490	13,431

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。